

東京内科医会市民セミナー 2010

テーマ：がん予防とがん検診

日 時：平成 22 年 10 月 3 日（日） 場 所：新宿住友ビル 47 階 スカイルーム

共 催：東京内科医会・興和創薬（株）

東京内科医会市民セミナー 2010 は「がん予防とがん検診」をテーマとして平成 22 年 10 月 3 日（日）に新宿住友ビル 47 階スカイルームで、東京内科医会木内章裕理事の総合司会で開会された。

特別講演として東京内科医会瀬底理事の座長のもと、独立行政法人がん研究センター がん予防・検診研究センター長 森山紀之先生により「がんを予防する生活習慣とがん検診」の特別講演があり、まず国立がんセンターとがん予防・検診センターの紹介後に、疾病統計から結核が減少し、がん（肺、胃、肝、結腸、膵、等）で 1 年間に 30 万人死亡しており、40 歳を過ぎると発病数は増加する。がんの 5 年生存率は膵がん、肺がんが特に悪い。がん対策基本法は 40 歳以上の半数を検診するのが目標だが、未だ達成されていない。生活習慣病とがんの関係では、禁煙、適度な飲酒、運動、メタボの予防、バランスの良い食事が大切だが、大蒜、キャベツ、甘草、大豆、生姜、人参、明日葉が良く、塩分の過剰摂取とピロリ菌陽性は胃がんのリスクである。特に、喫煙の害は学校で生徒に教えるべきで、治療上はがんの告知もするべきである。有効な検診を正しく行う必要があり、対策型検診、任意検診を推進するが、新規の検査では、子宮頸がん、乳がん、検便は有効である。最新の検査では、PET、Tomo による仮想内視鏡

が非侵襲性の画像診断である。日本人は多忙や受診が面倒、あるいは、がんが見つかるのが怖いとの理由で検診を受けないが、とりあえず検診を受けるようにと、参加者にやさしく講演していただいた。

パネルディスカッション「知っておきたいがんの知識」として、当会吉田幸子理事の座長のもと、大腸がん（神保勝一理事）、胃がん（武石昌則理事）、肝臓がん（石川 徹理事）、肺がん（若井安理理事）のテーマで行われたが、各理事の洗練された分かりやすい講演は大好評であった。

次いで、当会理事による個別医療相談が開催された。今回は、医療相談希望者と各理事の専門領域をマッチさせ、相談内容に熱心に対応したため、予定時間をオーバーしても会話は続き大盛況であったが、会場整備の関係で中止せざるをえなかったのは、やや心残りの感があった。

今回は、第 3 回目の開催であるが、立見が出るほど多数の参加者があり大成功であった。最後に、事前の準備、当日の運営に献身的に関わっていただいた各理事とセミナーの開催を支援していただいた興和創薬株式会社に感謝致します。

（文責：清水恵一郎）



●特別講演

「がんを予防する生活習慣とがん検診」
独立行政法人国立がん研究センター がん予防・
検診研究センター センター長 森山 紀之



「胃がん」 東京内科医会 理事 武石 昌則

●パネルディスカッション

—知っておきたいがんの知識—

「大腸がん」 東京内科医会 理事 神保 勝一



「肝臓がん」 東京内科医会 理事 石川 徹



「肺がん」 東京内科医会 理事 若井 安理



●医療相談会

